研究分野	受験番号	

平成31年度　東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験［建築史］

設問１－１　図版群Ａ

[redacted]

図 ①

[redacted]

図 ②

[redacted]

図 ③

[redacted]

図 ④

[redacted]

図 ⑤

[redacted]

図 ⑥

[redacted]

図 ⑦

[redacted]

図 ⑧

設問１－３　図版群Ｂ

[redacted]

平面図

[redacted]

梁間断面図

[redacted]

外 観

平成31年度　東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験［建築史］

研究分野	受験番号	

設問１－１　別紙「図版群Ａ」の図①～⑧について、以下の問いに答えなさい。

- 図①～⑧の名称を「欄Ｉ」上段に記入しなさい。
- 図①～⑧の建築年代を「欄Ｉ」下段に記入しなさい（○世紀ないしは○○時代でよい）。
- 図①～⑧の主要な特徴を「欄II」にまとめなさい。

	欄　Ｉ	欄　II
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

設問１－２　エベネザー・ハワード（1850～1928）の「田園都市」論は、世界中の近代都市計画に大きな影響を与えました。彼の構想の内容と日本での捉えられ方について論じなさい。

設問１－３　別紙「図版群Ｂ」は、江戸時代に建設された農家建築（旧北村家住宅・神奈川県・1687年）です。この図面から、日本の農家建築の特徴をよみとって記述しなさい。

研究分野	受験番号	

平成31年度　東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験［建築史］

設問2- 1

バロック建築の発生と成立の過程を政治的、宗教的、社会的側面から述べなさい。

研究分野	受験番号	

平成31年度　東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験［建築史］

設問2- 2
バロック建築から新古典主義建築へと時代の流行が移っていく要因を述べなさい。

平成 31 年度　東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験［英語］

研究分野	受験番号

以下の Le Corbusier のテキスト(1)(2)を和訳しなさい。

(1)

(2)

[All texts were adapted from ‘AIRCRAFT(pages 11-13)’ by Le Corbusier, published by The Studio, London 1935;]

(出題にあたって文意を損なわない範囲で語句の変更を行っています)

平成 31 年度　東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験［英語］

研究分野	受験番号

(1)

(2)

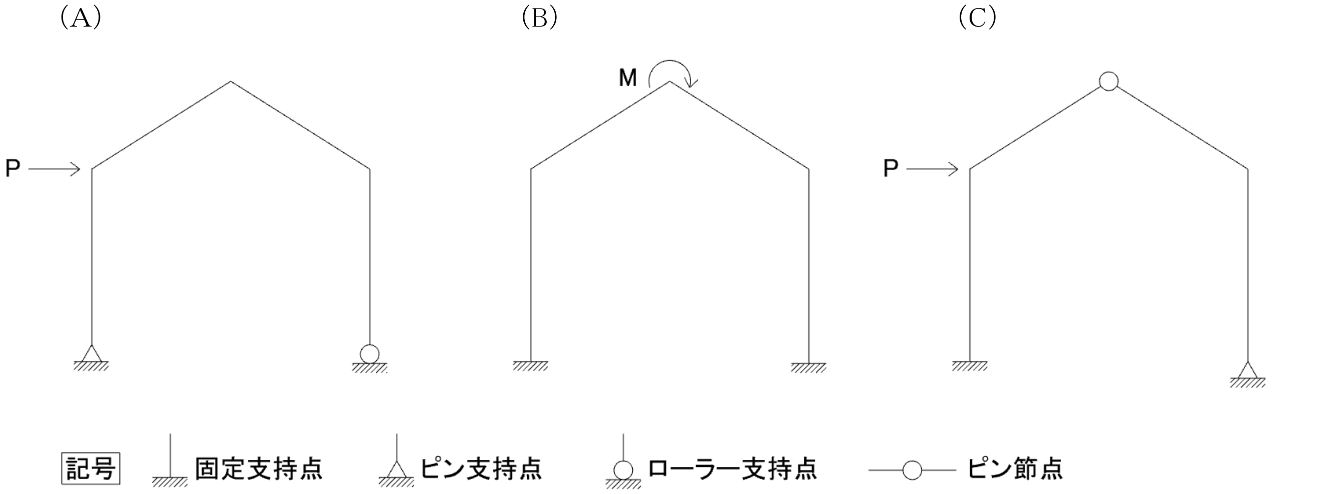
研究分野	受験番号	

平成 31 年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 ［構造力学］

［1］ 架構の応力と変形

次の架構の応力図（N、Q、M）と変形図を求めよ。変形図には反曲点位置及び曲げ変形の方向を明記すること。

＊解答は、解答用紙―1に書くこと。



［2］ 架構と構造用語

次の用語群（A）の用語を 2 つ以上自由に組み合わせ、以下の4つについて、その構造的特長をダイアグラムと文章により説明せよ。用語は複数回使っても構わないものとする。

（1） ポンピドゥーセンター
（2） 代々木体育館
（3） ゴールデンゲートブリッジ
（4） 羽黒山五重塔

用語群（A）

アーチ、トラス、ドーム、シェル、スペースフレーム、ラーメン構造、耐震、免震、吊り構造、木構造、膜構造、鉄骨造、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート、壁構造、ブレース、ピン構造、風荷重、地震力、自重、積載荷重、カテナリー、組積造、剛性、強度、靭性、減衰、固有周期、含水率

＊ 解答は、解答用紙―2に書くこと。

研究分野	受験番号	

平成 31 年度　東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻　修士課程選抜試験［構造力学］

解答用紙―1

［1］架構の応力と変形　(5 点 x 12 = 60 点)

	（A）	（B）	（C）
N図			
Q 図			
M 図			
変形図			

研究分野	受験番号	

平成 31 年度　東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻　修士課程選抜試験［構造力学］

解答用紙―2

［2］架構と構造力学用語　(10 点 x 4 = 40 点)

（１）ポンピドゥーセンター

使用した用語:

（２）代々木体育館

使用した用語:

（３）ゴールデンゲートブリッジ

使用した用語:

（４）羽黒山五重塔

使用した用語:

研究分野	受験番号	

平成 31 年度　東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験［設計実技試験］

"2 Reading Rooms for the New Geidai Library"

課題
東京藝術大学附属図書館は近年改装を行い、配置図（添付資料 1）に灰色で示す部分を増築した。この増築部には窓が少ないため、内部から外部、外部から内部への眺望がきわめて限定されている。今回の試験では、新しい図書館を藝大の学生や教職員及び上野公園からの一般来訪者にとってより魅力的な場とするために、計画範囲（添付資料 2）内に 2 種類の読書室を設計することを課題とする。また、設計には新しいエントランスホールを含めること。

計画範囲
計画範囲は、赤い点線で囲まれた枠内のみとする。枠内の壁、屋根、床、吹抜けすべてについて改変可とし、枠外は改変不可である。また、枠内の既存樹木や植栽、塀は移設・増設・改変可能である。

必要諸室
・エントランスホール
・読書室 1・2　各 150 ㎡程度（屋外テラスは面積に含まない）

条件
〈エントランスホール〉
・主に上野公園からの一般来訪者を迎える場である。
・受付カウンター、コーヒーカウンター、展示スペース、コンサートやパフォーマンスに利用できるレクチャースペースを設けること。
・エントランスホールと連携した屋外パフォーマンススペースを設けること。

〈読書室 1・2〉
・読書室 1・2 は、どのような配置、形態、素材でもよい。大きなワンルーム空間や、小さなスペースが集まったものでもよく、平屋建てでも複数階でもよい。各読書室は、勉強やリラックスするための明るく活気のある場所であること。
・読書室 1 は、主に学生や教職員が利用する場とする。
・読書室 2 は、主に上野公園からの一般来訪者を対象に、学外に向けてより開かれた場とし、来訪者が芸術に関する資料を閲覧できたり、上野公園を眺めながらリラックスできる場とする。
・各読書室には少なくとも 1 つ以上の屋外テラスを設けること。
・各読書室は連結してもよく、また、離れていてもよい。
・家具・什器等も重要な提案対象物である。

その他
・本試験における東京藝術大学附属図書館増築部をはじめとする各図面は、実際の図面をもとにしているが試験用に改変したものである。試験における設計は添付された図面をもとに行うこと。
・総合工房棟の屋外避難階段および隣地として示す上野公園に存在しているトイレや駐車スペースについては存在しないものとする。

【提出物】
提出用 A2 判ケント紙 3 枚をそれぞれ〈用紙 1〉〈用紙 2〉〈用紙 3〉とし、下記の通りまとめること。
着色自由。〈用紙 2〉〈用紙 3〉は縦横自由。

〈用紙 1〉設計概要
・設計趣旨 300 ～ 500 字程度（設計の方針、素材や構成、周辺との関係等を記述すること）
・各階平面図 縮尺 1:200
・断面図 縮尺 1:200
※ 1 階平面図および断面図は、印刷されているものに上書きして表現すること。

〈用紙 2〉メインドローイング
・設計の趣旨や構成を最も魅力的に表すドローイング。画面を分割せず 1 つのドローイングにまとめること。
（アクソノメトリック図、アイソメトリック図、断面パース等）

〈用紙 3〉サブドローイング
・上記を補足・補強する内容を、ドローイング（詳細図・パース・ダイアグラム・イメージスケッチ等）で表現すること。

【配布品】

・問題用紙 A3	1 枚
・添付資料 A3	2 枚
・提出用 A2 判　ケント紙	3 枚
・エスキス用 A3 判　普通紙	5 枚
・エスキス用 A2 判　トレーシングペーパー	3 枚
・着彩試し塗用 A3 判　ケント紙	1 枚

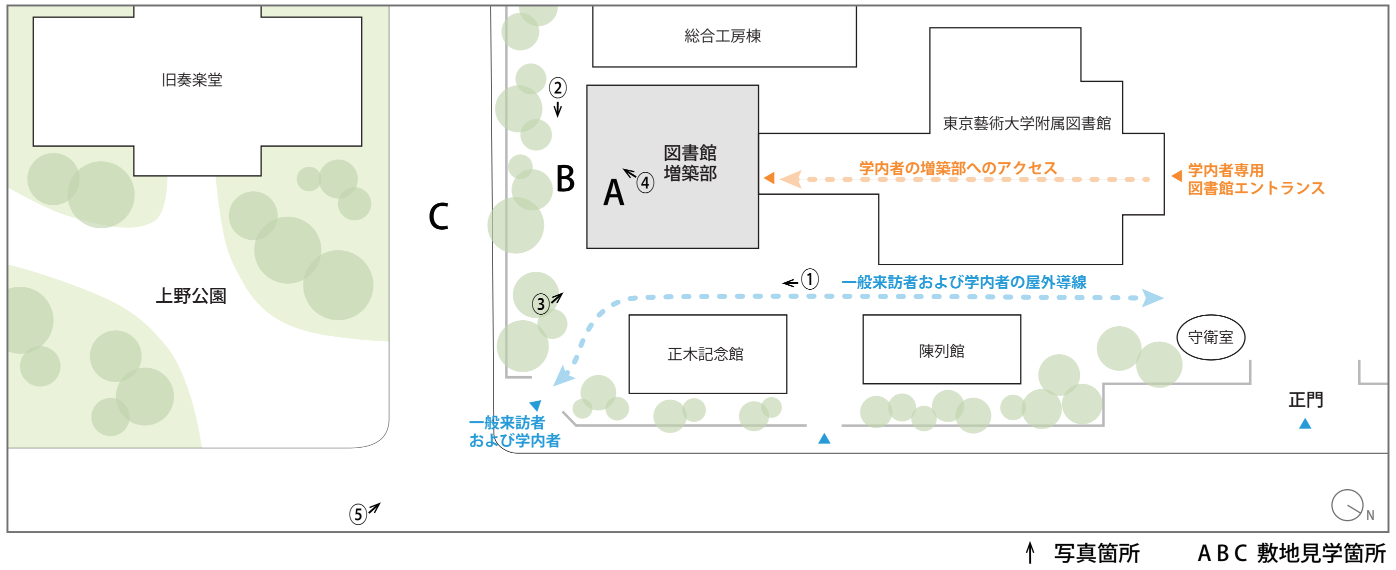
【タイムスケジュール】

9:00	試験開始	
9:15 ～ 10:15	敷地見学	※監督の誘導に従うこと（私語厳禁） ※問題用紙、添付資料、筆記具のみ持出可とします
12:00 ～ 12:40	昼食	※別会場に移動
17:00	試験終了	

※試験全日程を通じ、学内での携帯電話等、撮影や録音、通信が可能な機器等の使用は禁止とする。

研究分野	受験番号	

【添付資料１】



配置図

写真①

写真②

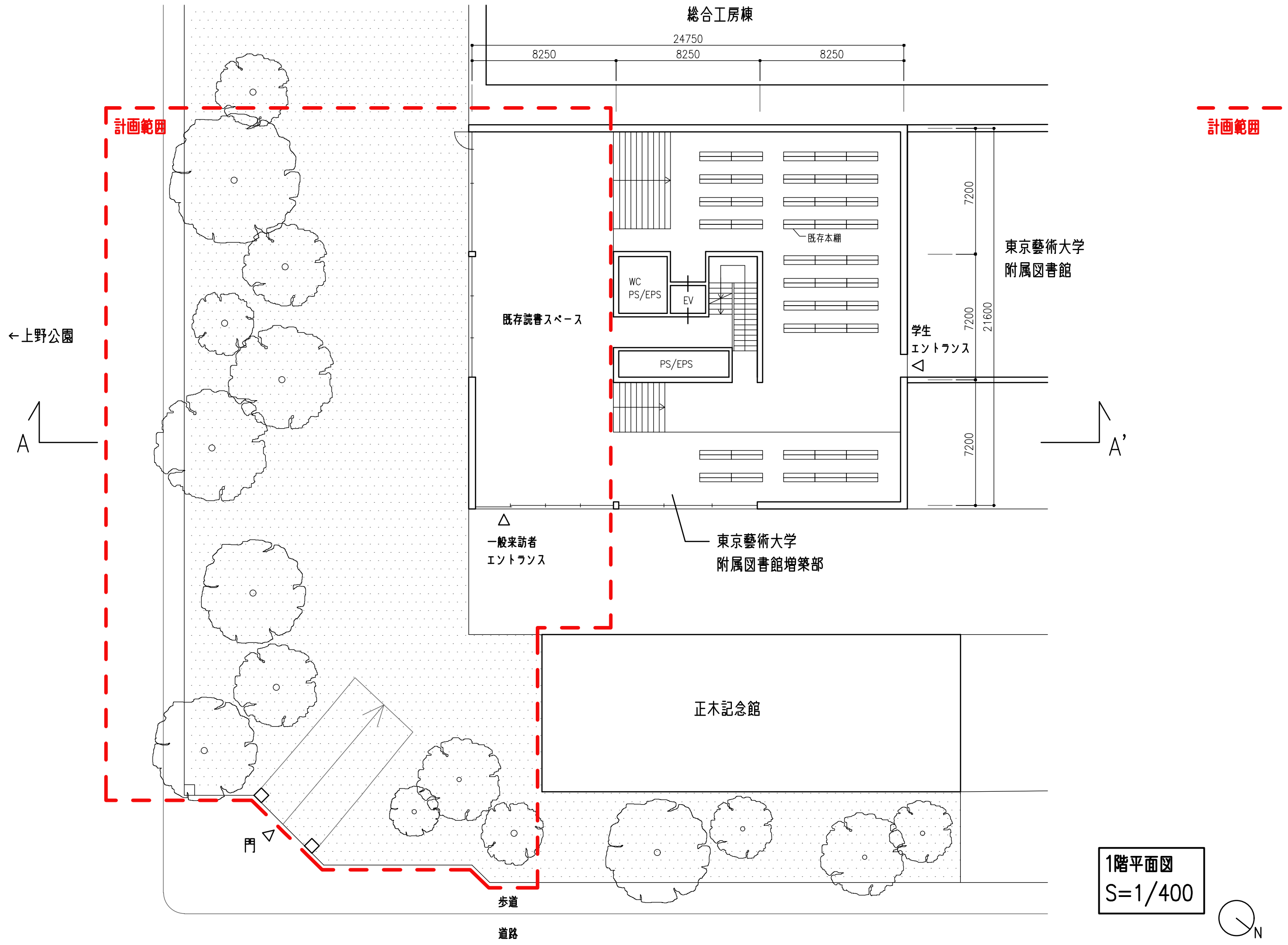
写真③

写真④

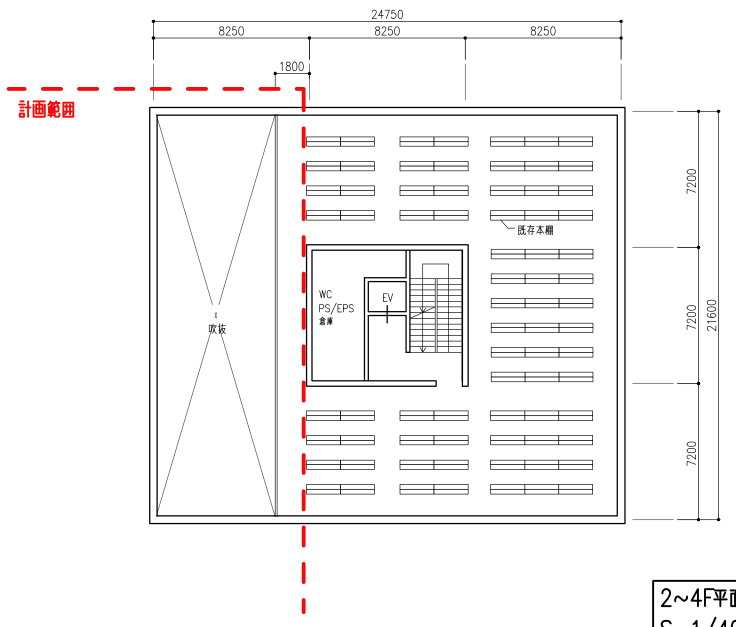
写真⑤

研究分野	受験番号	

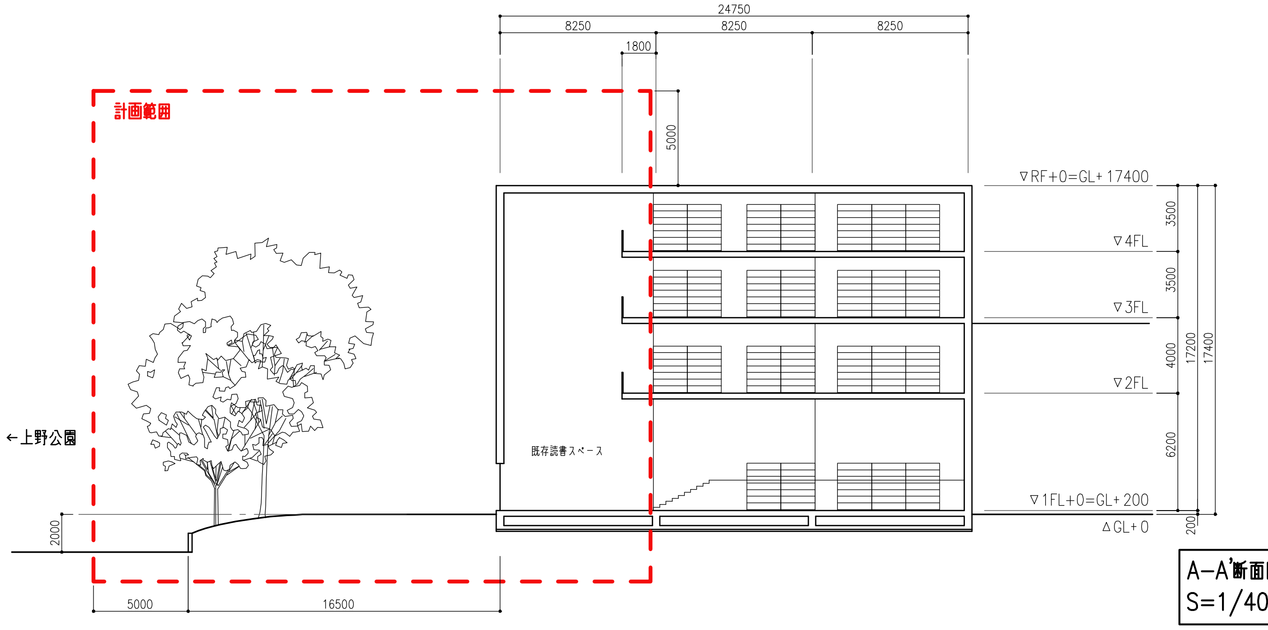
【添付資料２】



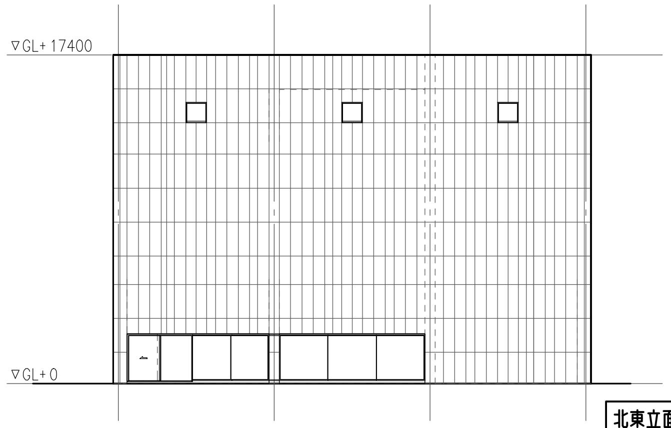
1階平面図
S=1/400



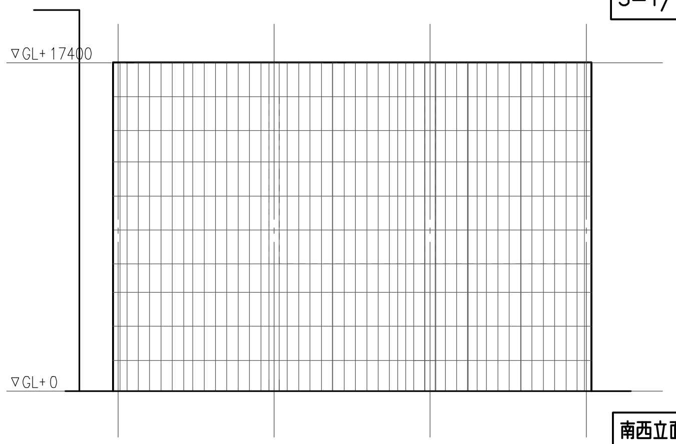
2~4F平面図
S=1/400



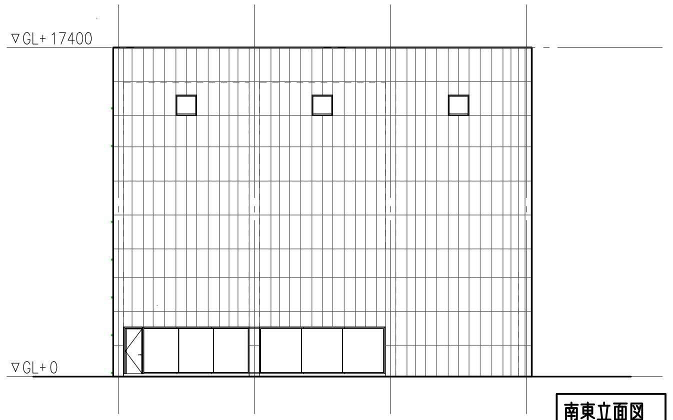
A−A'断面図
S=1/400



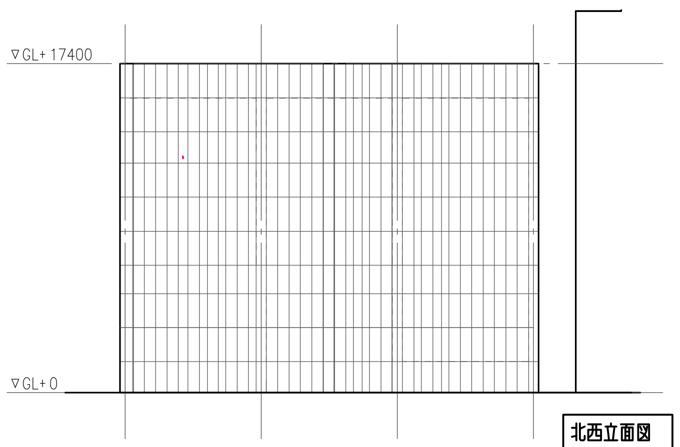
北東立面図
S=1/400



南西立面図
S=1/400



南東立面図
S=1/400



北西立面図
S=1/400